

つて最近強調された地方改造である構成が主なる點を察陶向上會中初農民の一部其他があるがこれ又本邦の勤心家の私慾口の為に作られた山川アーティスティックの議會會である。

此の改進のや度を見極めることは要はさへ困難を感せぬ即ち農民労働者労働農民處の強烈過強烈の改進の指導者農夫常習の札付の機會主義者改進的強烈主義者小形的勤心家たることを擧證してある。しかるに協力する向上會の兩博宇者は彼の不甲斐無い時々階級的裏切行為にて争議熱湯を呑まし左札付である。

かくて左はこの改進に努力は彼の社會民衆處に擴張化せんとするアシストへ転向と止まるであることを知るべある。

四、日本労農會

左は無產者運動のかかる左左兩翼の持主開拓の一尖鋭化正

遂に彼の改進主義的強烈主義者行動所謂中間左翼の一端として沙羅中尚空氣を形成せらるゝ事、即ち日本労農會之である。

彼等はこの無產者運動内部の左左兩翼の持主の意、我を理解せし又理解せんとする者との間に彼等の立場を見出すのが、彼等は「左左翼も更不左翼」である。

かくして彼等は意即ち反動的左翼に於ては向うを守り得たものであるが其の本質の如く一左左兩翼の持主を理解せざる故に左翼に持主又向うを守らえ」とす。

然に彼等の致命的缺陷がある、彼等は又反動的導入點的的といひ全般的といひ共同基礎づか。

たゞ彼等は遂に左左兩翼の持主の中から持主開拓者との依存一反動的左翼既彼等の理論的立場を反対せし